

# みなと新聞 YATSUSHIRO

## 2004新春特集号



八代港港湾振興協会  
会長 吉永富二夫

### 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

さて、港湾の果たせる役割というものは限りがございません。経済の振興はもとより、良好な自然環境の創出、安らぎのある空間の提供など、私たちの暮らしに活力と潤いを与えてくれます。

八代市には熊本県最大の国際貿易港として、八代港があります。市民の皆様が八代港への関心を高めていただくことが、八代港の最大の振興策になるものと考えております。

当協会と致しましても、市民の皆様方と八代港とのつながりをこれからも精一杯果たして参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2004年が皆様にとりまして実り多き年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 2003年度事業

#### 八代港港湾振興協会総会 5月26日(月)

八代港港湾計画改訂への意見反映活動、コンテナ船新規航路説明会、大型客船「飛鳥」歓迎セレモニー、2003みなと八代フェスティバル協賛、シンボルマークの選定、設立10周年記念事業等を盛り込んだ事業計画案及び予算案が承認され、今年度事業がスタートしました。

#### 大型客船「飛鳥」寄港 10月11日(土)・13日(月)

今年度も大型客船「飛鳥」が八代港に入港しました。県内旅行会社が企画した「飛鳥クルーズ屋久島3日間」のチャーターによるもので、八代白百合学園高等学校の生徒さんによるマーチングも披露され、会場は多くの見学者で賑わいました。



**出港の様子**  
飛鳥が出港する際にはジエット風船がリリースされ、多くの手持ち旗が風になびいていました。

来年度も入港が予定されています。



マーチングの披露

#### 八代港社会科見学 10月23日(木)

市立日奈久小学校3年生のみなさんが、八代港を見学しました。フェリー乗り場、チップヤード、コンテナヤード、水深12メートル岸壁、県南運動公園、大島石油基地などをコースとする見学で、港は私たちの生活に深く関わっていること、八代港は地域の発展に役立っていることなどを勉強しました。

八代港に関する出前講座や社会科見学等で説明を希望される団体がございましたら、当協会事務局までお問合せ下さい。



バスの中から八代港を見学

#### 「2003みなと八代フェスティバル」開催

7月19日(土)・20日(日)

19日は前夜祭として、ハーバーナイトシアターを開催しました。八代港に大型スクリーンを設置し、「ワンピース」「007～ダイ・アナザー・ディ～」の2本の映画を上映しました。

20日は当イベント開催以来の悪天候に見舞われ、護衛艦「いそゆき」、巡視船「さつま」の体験航海及びモーターボート、ヨットの体験クルージングは中止となりましたが、海上では小型フェリーによる八代港探検航海や元九州チャンピオンによる水上バイクショー、ステージでは仮面ライダーファイズショーや大道芸人ショーなどが行われ、来場者は八代港での夏休みを楽しんでいました。



八代港に停泊中の護衛艦と巡視艦

#### 八代港港湾振興協会10周年イベント

平成16年2月(予定)

平成16年2月17日で当協会は設立10周年を迎えます。これまで八代港の発展へ向けて、整備及び利用の促進はもとより、美しく懐かしいある港づくりなど多くの事業を行ってきました。イベントでは当協会シンボルマークの発表をはじめ、10年の節目に相応しい内容を予定しています。

##### (コンテナ取扱数5万個達成イベント)

平成11年6月18日に県内で初めて開設されたコンテナ国際定期航路におけるコンテナ取扱数の5万個(20フィート換算)達成が見込まれます。今後更なる振興を願い、5万個達成を記念するイベントを予定しています。

八代港コンテナヤード



# 八代 みなと物語

vol.3

## 外港



昭和53年の八代港外港地区



現在の八代港外港地区

さらには、平成11年6月、コンテナ対応施設の完成と同時に、韓国釜山港とのコンテナ国際定期航路が就航。国際貿易港の仲間入りを果たし、世界各国との貿易拠点として数多くの貨物が取り扱われている。

また、背後に立地する企業へ飼料用穀物や木材、チップ、石炭などの原材料を供給するため、大型貨物船が数多く入港している一方で、最近は、大型豪華客船の入港も多く、南九州地域における物流・人流の拠点港としてその将来を期待されている。

八代港外港地区の整備は昭和33年に始まり、外貿取扱施設及び臨海工業用地の造成により港湾機能は急速に強化された。この間、「重要港湾指定」(昭和34年)、「貿易港としての開港指定」(昭和41年)、「外国産食糧港指定」(平成6年)を受け、3万t級の船舶が接岸可能な水深マイナス12m岸壁2バースを有する県内最大の港湾施設と貨物取扱高を誇る港湾へと成長し、地元経済へ大きく貢献している。



